

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2023 No. 68

inaokigakuen news letter



～春の光と風を感じて
新たな挑戦をしよう～
稲置学園各設置校で学位記授与式・
卒業証書授与式・卒園式を執り行いました。

巻頭

2023年度 新年度あいさつ

特集

学園創立90周年記念
映像特別企画 座談会

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

星稜Information

Amitié Seiryô ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくは裏表紙をご覧ください

2023年度 新年度あいさつ



学校法人稻置学園 理事長
稲置 慎也

新年度を迎え、本学園の大学、短期大学部、高等学校、中学校、2つの認定こども園では、新入生、入園児を迎え、各学舎には清新な空気が満ち溢れており、2023年度の学びが新たにスタートいたします。教職員の皆様には、これまで同様、「建学の精神」の実現に向けて、ご尽力いただきますようお願いいたします。

さて、昨年は学園創立90周年を迎え、記念式典並びに記念講演会が無事執り行われましたこと大変嬉しく思います。記念式典では、創立80周年に宣言した「星稜100年VISION」をあらためて振り返り、この10年間の成果を披露するとともに時空を超えて変革を遂げる学園の100周年メッセージを予言する創造的なストーリーを映像化しました。本年は次の10年のスタートの年です。教職員の皆様は人を育てることに誇りを持ち、100周年に相応しい新時代の「星稜の人間教育」を実現するための努力とともに続けていきましょう。さて、2023年度の目標は、学園のトップマネジメントと強固なガバナンスの確立に向けた、次の課題解決に取り組むことです。

最初に、大学の学部・学科再編に着手し、学びの選択肢を幅広く設定します。経済学部の実、他の学部学科の再編、そしてDX化・GX化の波が押し寄せておりますが、そのための新たな学部学科、すなわ

ちこれからの時代の要請に応えるための新しい教育を創造します。また、中学校・高等学校においては、中高一貫教育の確立に向けた未来構想・方針の具現化に着手するとともに、新たな付加価値の創造に挑みます。

二つ目に、数値目標の明確化による財務の健全化に努めます。学園全体又は各設置学校の財務比率などの指標に基づき、費用対効果を踏まえた合理性の高い事業に計画的に取り組めます。また、学園及び設置学校ごとに具体的な数値目標を掲げ、自覚と責任をもってその実現に尽力します。

三つ目に、昨年度から試行した人事制度の正式導入に向け、職員の能力や業績を適正に把握するための公正な人事考課を行い、また人材育成プログラムを確立することで、事務職員の意欲と能力の向上を図ります。

最後に、頑健な財政基盤の確立と将来を見据えた経営改革を実現するため、常務理事会を中心とした経営管理体制の下、強固なガバナンスの確立、実効性の高い内部管理体制の構築を目指します。

以上の課題を解決するため、これまで以上に教職員の皆様のご理解とご協力を得ながら、一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。



金沢星稜大学 学長
金沢星稜大学女子短期大学部 学長
大久保 英哲

創立以来の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を普遍的理念として継承し、地域に信頼され、期待される金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部を目指します。

年度の初めにあたり、学長所信を5つの星で示します。

☆1 次の百年を見据えた学園の方針策定に積極的に参画し、その方針のもとに大学・短大部の発展に尽力します。

☆2 国際化や人々の価値観の多様化など、社会の変化に対応した、大学・短大部の新たな姿とミッションを提唱します。

☆3 学長として、リーダーシップ（方針を定め、発信し、実行できる）を発揮し、常に教育・研究・社会貢献の充実に努めます。

☆4 学生ファーストの学修、教員による社会に直結した研究支援、事務職員による目標達成に向けた積極的な支援の3つのバランスを保ち、共同の夢に向かって一体感のある大学・短大部づくりに努めます。

☆5 大学・短大部に学び、また働くことに喜びと誇りを持ち、健康で楽しく、人々から愛される「星稜人」の集う大学・短大部となるよう努めます。



星稜高等学校 校長
星稜中学校 校長
鍋谷 正二

昨年度末から生徒と共に安全・安心な学校作りを目標に掲げ、中高の生徒会メンバーと校長・副校長・教頭を含めた職員によって情報交換会を重ねてきました。コロナ禍の3年間で大きく変わってしまった学校生活において、何が起きていて、どう対応しているのかを生徒たちから直接話を聴くことができました。想像以上に生徒たちは悩み苦しんでいることを知りました。オンライン授業に関する課題、新型コロナウイルス感染症による体調不良、クラス内や部活動内での人間関係、ジェンダーレスといった昨今の課題を含めた校則についてなど、今回生徒と共に学ぶ機会を得たことで、今後解決しなければならぬことを発見することができました。このような生徒と共に学ぶ活動を増やしながら、本校のスローガンであります「GROW SEIRYO」の如く、世界に羽ばたく星稜生をイメージし、生徒が自ら生きる道を自ら切り開いていけるよう、教職員一同、全力を尽くして参ります。



金沢星稜大学附属星稜幼稚園 園長
島田 裕香子

世界では、情報の高速広範囲化、AIやIoT、メタバース空間の広がりと、私たちは、誰もが経験したことのない社会へ突き進み、社会のパラダイムシフトはあらゆるところで起こり始めています。様々に変化していく未来は、これから成長していく子どもたちが、その手で作り上げていきます。未来をつくる使命を担い、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な乳幼児期。様々な変化する未来に対応する乳幼児期の教育は、IQに代表される認知能力だけでなく、自己認識、意欲、持続力、自制心、対応力、社会性等の非認知能力が大切となります。星稜幼稚園教職員は、金沢屈指の広い園舎と園庭、総合学園ならではの連携や施設設備を活用し、好奇心を満ちた自発的な教育（遊び）を豊かに展開されるよう環境を整え、乳幼児期の教育に関われる喜びと誇りを持ち、園児・保護者に信頼され、地域に根ざすオンリーワンの園となるよう努めて参ります。



金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 園長
西村 敬子

星稜泉野幼稚園は、今年度創立40周年を迎えます。当時は出生率が高く、入園願書の受付が始まると早朝から順番待ちが出るくらい人気の幼稚園でした。しかし、時代とともに少子化が進み園児も減少しています。また、社会の変化とともに子育て環境も変化し、個性も多様化しています。

当園では、様々な個性を持った子どもたちもみんなが輝く幼稚園を目指しています。昨年、初めて年長児の保育参観に参加されたお父さんが、「園で子どもたちがこんなに高度な遊びをしていることや夢中になれる玩具で遊んでいることを知らなかった。学ばせるのではなく遊びの中で自ら学ぶことを大切に行っている園だと感じました」と話してくださいました。

これからも園での遊びが学びにつながっていることをより多くの方に発信し、星稜泉野幼稚園創立100周年を目指して、この地域に必要とされる園となるよう尽力していきます。

～学園創立100周年に向けて～



学園全体が一丸となって
星稜の人間教育に磨きをかけ
全国に誇る星稜ブランドの確立を



後列左から 佐々木 康成 金沢星稜大学 教養教育部長兼総合情報センター長 教授、瀬野 優子 金沢星稜大学附属星稜幼稚園 教頭、山田 範子 金沢星稜大学女子短期大学部 准教授
高 佳奈 金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 保育教諭、川井 有紀 星稜中学校 教諭、野口 将輝 金沢星稜大学 経済学部経営学科長 准教授
前列左から 佐々木 雅幸 稲置学園 教育研究担当理事、稲置 慎也 理事長 学園創立90周年事業実行委員会委員長、田中 富士美 金沢星稜大学 副学長兼人文学部長 教授

(所属、職名は開催当時)



1932(昭和7)年10月に創立した稲置学園は、昨年創立90周年を迎えました。建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」が学生や生徒、園児にも脈々と受け継がれ、卒業後も社会のさまざまな分野で多くの同窓生が活躍されております。今回、昨年10月の記念式典でも上映された学園創立90周年記念映像「星稜の人間教育を地域へ、世界へ、そして100年へ」の制作に設置校の枠を超えて参加いただいた皆様に2023年2月27日(月)に集まっていたいただき、記念映像に込めた思いや制作の裏話、次の創立100周年に向けた学園教育のあり方などを話し合いました。



佐々木雅幸 稲置学園 教育研究担当理事(以下、佐々木雅) 本日はお集まりいただきありがとうございます。

本日の座談会の主旨について簡単に説明します。

皆様にご協力いただいた記念映像につきましては、創立90周年の節目に本学園の沿革を振り返るとともに、「星稜の人間教育」を幼稚園から大学、短大部まで一貫性をもって表現するといったテーマにて制作を開始しました。

現状、幼児教育段階においては、感性や芸術性といった人間としての根源的な要素となる「非認知能力」を重視し、初等教育を経て中等教育、高等教育と進む過程にて、人間としての総合的な能力を一貫性・連続性を持って身につけていくことが、本学園の教育提供における理想形の一つであると考えます。

これまで行ってきた教育活動において、理想として掲げている教育がどの程



稲置 慎也 理事長 学園創立90周年事業実行委員会委員長



佐々木 雅幸 稲置学園 教育研究担当理事

度実現しているか、また、今後の創立100周年、さらにそれ以降に向けて、どのように考えていくかを意見交換できればと思います、本日の座談会を設けました。

稲置 慎也 理事長 学園創立90周年事業実行委員会委員長(以下、稲置) 昨年10月、同窓生や学園関係者、在学生、保護者など多くの方々のご協力のもと、創立90周年記念事業を成功させることができました。この場をお借りして皆様にあらためて心より感謝申し上げます。

振り返れば創立80周年の際には、各設置校の方々にもご協力いただき、「星稜100年VISION」を策定しました。「星稜100年VISION」は創立100周年に向けた思いを文字として表現したものでしたが、創立90周年を迎えるにあたり、文字から映像として可視化し、更に今後の学園及び「星稜の人間教育」についても、できる限り表現を残し、創立100

周年へ繋げていきたいと考えました。

創立80周年からの10年間に於いて、社会情勢は大きく変化し、デジタル化の潮流や新型コロナウイルス感染症によって、教育にも様々な変革が起きました。また、今後数年においてもこの変化は継続的に進むと考えます。

過去や現状については、これまでの沿革や皆様が携わっている現状の教育を基に構築することはできませんが、本学園の10年後の未来と星稜の人間教育については、幼稚園から中学、高校、短大部、大学の教育に携わる皆様が、教育を語り合うことによって生み出されるものであると考え、記念映像制作を提起しました。

本日は、記念映像制作についての意見交換とあわせて、今後の創立100周年





高 佳奈 金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 保育教諭

に向けた内容についても語りつくせなかった点があると思いますので、そういった観点をもって自由な意見交換ができれば、うれしく思います。

佐々木雅 まず、記念映像制作にあたって、委員の皆様が「どのような教育を表現したかったか」という思いや、「思うようにはいかなかった」といった感想をお話しいただきたいと思います。

かわいい表情だけでなく
葛藤したり、没頭したり
園児の成長をいさいさと

高佳奈 金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 保育教諭(以下、高) 最初の頃は、教育・保育を言葉にすることさえ難しいのに、更にそれを映像で表現し、伝えるためには、どのように工夫をすれば良いか

に苦戦しました。幼稚園のカットでは、園児が没頭や葛藤している瞬間など短い映像の中で伝えることが難しい内容が多かったように思います。しかしながら幼稚園、中学、高校、短大部、大学と進んでいく流れにおいて、全体的な繋がりを通して、星稜の教育で重視している内容が伝わったのではないかと感じています。

また、各設置校の方々と一緒に記念映像制作に取り組むことによって、皆様が行っている日々の教育内容や考え方を知ることができ、中学、高校、短大部、大学も幼稚園と同じ気持ちで人間教育を大事にしていることを実感できてよかったです。

瀬野 優子 金沢星稜大学附属星稜幼稚園 教頭(以下、瀬野) わずかな収録時間の中で幼稚園の魅力をどのように伝えられるかと思いましたが、子どもたちのかわいい表情や、あそびに没頭している姿など日々の様子がうまく映像に収められました。おかげさまで視聴した保護者からの評判もとてもよかったです。

短大部と中学のコラボ授業で
主体的な学びの大切さを
教員も在校生も教えられた

川井有紀 星稜中学校 教諭(以下、川井) 中学校ではこの3年間は、コロナ禍で人との関わりが制限され、あらためて生徒も教員も対話の必要性や主体的な学びの大切さに気づかされました。思

い通りに過ごすことが難しくありました。が、困難な状況の中でも、自分の夢や目標を持ち続けながら地道に一步ずつ学んでいけば、必ず道がひらけることを生徒たちが示してくれました。そんな生徒のひたむきな姿勢と笑顔を見てほしい、星稜中学校の魅力が伝わるものは他になーいと思ひ、映像の中に生徒たちの自然な笑顔をたくさん取り入れています。

またこの記念映像制作を通じて設置校同士で交流を持つ機会を得て、短大部とコラボ授業を実現できたことは、生徒はもちろん、自分自身にとっても新たな学びの機会をいただくことができました。

山田 範子 金沢星稜大学女子短期大学 部 准教授(以下、山田) 川井先生は同じ国語を担当されていたので、私の方からお声をかけさせていただき、短大部の後期科目「日本語表現法Ⅱ」と中学1年生



山田 範子 金沢星稜大学女子短期大学 准教授

の国語の授業の中で、作文による交流を行いました。

短大生が中学生に課題を出し、中学生が書いた作文を短大生が添削するという流れでした。また作文とは別に中学生からの質問コーナーを設けたところ、「成績はどうすれば上がりますか」「少子高齢化についてどう思いますか」といった質問があり、短大生も必死に自分なりの納得のいく答えを見つけ出し、丁寧に一つひとつ回答していました。作文の添削を正確にしようと、授業外に私の研究室まで質問にくる短大生もいて、主体的な学びの大切さをあらためて教えられました。



設置校の枠を超えて 星稜ブランドを考えた 動画制作の取り組み

野口将輝 金沢星稜大学 経済学部

経営学科長 准教授(以下、野口) 私は大学でブランド論を教えています。今回の取り組みはまさに「星稜ブランドとは何か」をみんなで考えるとてもいい機会になったと思っています。

私のゼミナールでは3年次に「自分はどんな人と思われたのか」をテーマとした30秒動画を学生に1日で制作させま



学術連携(シンガポール)



佐々木 康成 金沢星稜大学 教養教育部長兼総合情報センター長 教授

す。動画を通じて自分を表現することは、学びにもつながり、ここで身に付けたノウハウは個人経営をするにも、組織内で働いていくうえでもとても大きな力を養えます。ぜひ創立100周年の時にも記念映像制作は、事業の一つに取り入れていただきたいと思っています。

田中富士美 金沢星稜大学 副学長兼
人文学部長 教授(以下、田中) 記念映

像の中でナビゲーター役を務めていた卒業生は、私のゼミナールに所属していた学生でした。記念映像制作に関わったことで、一度、母校で過ごした日々を振り返り、自分を客観的に見つめ直し、自信をもって現在の仕事に取り組んでいます。

映像制作にあたっては、金沢星稜大学らしい多様性の雰囲気が少しでもリアルに伝えられるよう、シンガポール人の先生に登場してもらいました。ちょっとしたワンシーンにも金沢星稜大学らしさを

盛り込めるようにみんなでアイデアを出し合い、ディテールにもこだわり、仕上がりにも満足しています。

主体的な学びとともに 自ら考えて行動する力が 豊かな人生には必要

佐々木康成 金沢星稜大学 教養教育部
部長兼総合情報センター長 教授(以下、佐々木康) コロナ禍の影響もあつ

て、映像の中に学園の事務職員や同窓生、あるいは学園と関わりのある地域や企業のみなさんなどを盛り込めなかったことは、本当に残念でした。

今回の記念映像を通じてメッセージしているのは、これからの学びには、物理的な空間に依存しない学びの場を機会としてつくっていくことだと思っています。職場でも社員が特定の机を持たないフリーアドレスがいろいろな企業で浸透してきているように、学校もどんどん変化していく必要があります。スクール形式の授業や講義は、もう古く、どこにいても自由で多様な学びができるようにしていく必要があると思います。そこで重要になってくるのが、教員の学びをデザインする力です。学生だけでなく教員の主体性がますます問われる時代になってきているように思います。

佐々木雅 皆さんのお話を聞いていて、「主体的な学び」がキーワードだと思いました。理事長がよくおっしゃられてい

る「自ら考え、行動する」という言葉こそ、まさに主体的な学びに裏付けされたものであり、在学生の成長はもちろん、豊かな人生やよりよい社会を創造するためにもあらためて必要不可欠なものだと思います。

キャンパスを隔てる 道路をなくせたら 学園の交流がもっと活発に

佐々木雅 それではここからは、学園創立100周年に向けて、学園としてどうあるべきか、皆さんの思いや考えを自由に語っていただけたらと思っています。たとえ現実的に無理なことであっても、遠慮なくぐざくばらんに話してください。

田中 ちょっと実現は難しいかもしれま



田中 富士美 金沢星稜大学 副学長兼人文学部長 教授

希望進路をデザインするためのプログラム



星稜高等学校

日本の大学で学ぶ外国語と異文化理解

GROW! SEIRYO PROGRAMS (GSP)

せんが、中学、高校と短大部、大学の間に
ある道路をなくすことができれば、生徒
や学生、教員がもっと自由に行き来し、
設置校同士の交流も活発になるのでは
ないかと思っています。人文学部の拠点と
なっているグローバルコモンズもそんな
に遠くに感じなくなるはずですよ(笑)。

野口 斬新なアイデアですね。確かに道
路の入口と出口付近に門を設置したり、
道路の上でも橋でキャンパスをつなげた
りできれば、学園のコミュニティにな
りますね。

親子で受け継がれる 母校愛、星稜愛は 全国に誇れるもの

山田 私は早稲田大学大学院で学びま
したが、母校愛の強さは、星稜にも近い
ものを感じます。早稲田実業には初等部
があり、小学生の頃から早慶戦の応援に
行っているそうです。

星稜も保護者の方にOBやOGがとて
も多く、「自分がよかった」と思わなけれ
ば、絶対に子どもをそこに通わせないと
で、これは本当にすごいことですね。星稜
への母校愛は、先輩や後輩だけでなく、
親、子まで、それこそ職場から家庭まで社
会全体で育んでいるところが素敵です。

野口 私ばかり口を挟んでしまつて申
し訳ありませんが、自分の母校の試合で
さえ観戦したこともないのに、こちらに



野口 将輝 金沢星稜大学 経済学部 経営学科長 准教授



川井 有紀 星稜中学校 教諭

来てから大学の野球部の応援にも行く
ようになりました。

星稜愛の強さは、在校生や同窓生と会
うたびに感じるもので、もつと球場に同窓
生や在校生、保護者、学園関係者、地域の
人が気軽に足を運んでもらえるように学
園全体の一体感を大切にしながら盛り上
げていけたらと思います。

辛い経験も 自分の力に変える 星稜の人間教育

高 幼稚園から中学、高校、短大部、大学
まで擁する総合学園として、みんなで一
つとなる星稜ブランドを築いていたら
いいなと思っています。そのためには園
児や生徒、学生だけでなく、保護者や同
窓生、地域の方々ともさまざまな形で関
わっていかれたらと思っています。

なかなか将来を予測しづらい時代で
すが、園児たちには、転んでも自分で起
き上がり、自分の力で走っていく、そん
なたくましさを一人ひとりに身に付けて
ほしいと思っています。

川井 コロナ前には、中学も幼稚園に職
業体験でお世話になっていました。単発
的な授業でも生徒や教員にとってたくさ
んの気づきや学びの場となり、効果は大
きかったので、今後も設置校同士で交流
をもつと深めていきたいです。

佐々木雅 コロナ以外にも東日本大震
災やウクライナ紛争などを経験し、日本
でもレジリエンスという力が注目を集め
ています。レジリエンスとは、辛く、不利
な環境変化にもしなやかに対応し、精神
的に落ち込んだ状態から回復する力の
ことを言います。

これからは私たちが経験したことのない
ような時代を迎えるかもしれません。
それだけに子どもたちの立ち上がる力、
レジリエンスが大事になってきます。

幼稚園の教育方針は 個性と主体性を重視し 非認知能力を育むこと

瀬野 乳幼児期は、愛着形成の上でとて
も重要な時期となります。急速にデジタ
ル化が進んでいます。人と人の関わりの中
で育まれていく協調性や社会性などの
非認知スキルを乳幼児期に身に付けるこ
とが大切だと思います。

幼稚園では、あそびを通して主体性を育み、自ら考え、葛藤したりする中で、夢中になってあそぶことを重視しています。デジタル化がさらに進んだとしても、乳幼児期に人から愛され認められることを実感することが、その後の人生においても良い影響を与えていくと思っています。

佐々木康 自己肯定感の大切さは、普段、学生を見ていても感じます。自己肯定感の話をすると、ただ単に褒めればいいと思っている方もいますが、相手への思いやりの気持ちがあれば、たとえ叱っても、ちゃんと自己肯定感が伸びることを保護者のみなさんにも理解してほしいです。



学び直し需要に応え

さまざまな講義や授業の動画配信を検討しても…

野口 保護者との関わり方についていえば、親御さんはもちろん、教職員の方や地域の方にもぜひ自分の講義を受講してほしいと思っています。

人口減少社会を迎え、大学の相手は決して若い人だけではなくなってきたいます。さまざまな講義や授業を動画に編集して、一コマごとに切り売りで配信するビジネスを検討してもいいのではと思っています。

佐々木雅 人生100年時代といわれ、政府もリスキリング(学び直し)の重要性を訴えており、シニア層は比較的金や時間にゆとりがあるので、講義や授業の編集動画は工夫次第で十分ニーズがありそうです。

佐々木康 今、文章で質問すればAI(人工知能)が流暢な日本語で分かりやすく、詳しく解説してくれる対話型AI[ChatGPT]も話題になっています。今後学生たちがどんどん便利なものを活用する流れを止めることはできません。むしろ使わせていく方がよいです。

それだけに教員の一人ひとりがしっかりとディフェンスできる能力を身に付けて、主体性や話し合いなどを大切にするアクティブ・ラーニングや双方向的な講義や授業を展開していく必要があると

思います。

同窓生も在校生、保護者も誰でも気軽に利用できるカフェスペースの設立を

田中 教育現場でもデジタル化が進み、大きな転換期を迎えており、教員もさまざまな立場の人と関わり、常に情報をブラッシュアップし、学び続けていく必要があると思っています。大学敷地内で学園の人々との意見交換ができるよう、同窓生や学生、生徒、保護者、事務職員、教員などが気軽に学園に足を運べるようなカフェスペースができればいいですね。

知り合いからも「星稜のタオルが欲しいけど、星稜グッズはどこで買えるの」とよく聞かれるので、ぜひカフェの一角には特設コーナーを設けてもらいたいです。

稲置 記念映像制作を振り返りながら、皆様からたくさんのご感想やご意見をいただき、ありがとうございました。

次の100周年を見据えて、AIやDX(デジタル・トランスフォーメーション)などデジタル技術が教育現場でどれだけ発達しても、星稜ブランドの根幹となっている人間教育により一層の磨きをかけ、幼稚園から中学、高校、短大部、大学まで一丸となって地域とともに社会に役立ち、世界に羽ばたいていく人間を育てて参りたいと思っています。



瀬野 優子 金沢星稜大学附属星稜幼稚園 教頭

学園創立90周年記念映像
「星稜の人間教育を地域へ、世界へ、そして100年へ」
<https://www.seiryo.jp/90th/project/06/>



学園創立90周年記念映像特別企画 座談会

～学園創立100周年に向けて～
学園全体が一丸となって
星稜の人間教育に磨きをかけ
全国に誇る星稜ブランドの確立を



金沢星稜大学
副学長兼人文学部長
田中 富士美 教授

自らの経験を踏まえて 早期留学の大切さを実感

まだアジアからの留学生が少ない時代でしたが、24歳でワシントンDCに留学した時、アメリカ全土から志が高く、優秀な学生が集まり、南米やヨーロッパなど世界の留学生と一緒に学び、生活する中で多様な文化と考え方があることを知りました。また、アメリカでは話すことをとても大切にし、徹底的に議論するスタイルに最初は戸惑いましたが、むしろお互いの意見や考えを尊重することに共感する部分が大きかったです。英語がみんなをつなぐ言語であり、自分の世界を広げる手段であることをこの時に初めて体感しました。

人文学部では、1年次後半から2年次前半までの約4〜8カ月、学部生全員が海外留学します。通常の大学では、2年次後半か3年次に留学させるのが一般的ですが、早期に海外留学することで、自分のやりたいことを本気で考えたり、進むべき道を見い出したりと、一人ひとりがその後のより深い学びにつながる大きなきっかけになっています。私自身も留学の経験がその後の通訳者や現在の仕事に生き、当時の仲間にはハワイやイタリア、タイなど世界に散らばっていますが、

英語のスキルアップだけでなく 言葉の一つひとつに隠されている 生活や文化なども尊重する教育を。

今でも家族ぐるみの交流があります。通訳者になって感じたのは、世界にはいろいろな英語を使う人がいて、それぞれのなまりやアクセントの違いにその国の文化や歴史、宗教、暮らしがにじみ出ていることです。金沢でふれる英語は、ネイティブスピーカーの英語よりも、むしろそういった英語の方が多いと思います。国際文化学科では、ただ単に英語のスキルアップを目指すのではなく、多文化共生論や比較宗教論なども学び、英語を通じて多様性や寛容性、広い視野を身に付ける点でも役立っています。

言語はそこに生きる人々の アイデンティティーそのもの

そもそも自分が英語に興味を持ったのは、富山県の滑川高等女学校（現・滑川高校）で英語教師をしていた祖父の影響が大きいです。母から「戦時中、国の方針で英語教育が禁止され、（祖父は）失職した」と聞かされて育ってきた。情報が少ない時代、必死に英語を学び、苦勞して身に付けた知識も戦争で生かせなかった祖父の無念を思うと、今でもやるせない気持ちになります。ウクライナ紛争も、2014年からウクライナ東部地方で内戦状態にあった時、ウクライナ政府が現地でロシア語を公用語から排除したことも軋轢になったことは否めません。いつの時代も、言語の使用を禁止したり、制限したりすることは、例えば敵と味方に分かれても市民にはあつてはならないことです。言語を奪われることや使用を制限されるということは、そこに生き

る人々の生活習慣から文化、思考まですべてを奪ってしまうことにつながるからです。ですから言語教育に関わる人間として、日本では方言の違いぐらいに感じる言語でも、その地域に生きる人たちのアイデンティティーそのものなので、尊重するようにしています。私が大切にしている言葉は、ノーベル文学賞を受賞したイギリス元首相のチャーチルの「Never give in. Never, never, never. (決して屈するな。決して、決して、決して)」で、研究室の一番目立つところに貼ってあります。まさにこの言葉の通り、ゼミ生たちがどんなに高い壁を前にしても、決してひるむことなく、粘り強く就職活動に取り組む、夢をかなえていく姿を見てみると、こちらもどんどんチャレンジしていかなければという気持ちになります。

留学が自己肯定感を高めるきっかけになり、自分に自信を持ち、突き抜けた成長を見せる学生も多いですよ



★ 2022年度 ゼミナールコンテストを開催

2月16日(木)、学生の学問の研鑽の機会として、ゼミナールコンテストを開催しました。経済学部ゼミナールに属する学生の有志たちが、1年間の研究成果を発表し、審査員の先生方により採点・講評が行われました。

今回の参加者は、8つのゼミナールからなる計12グループの学生たちです。学生たちは1年間積み重ねた研究・プレゼンテーションの成果を思う存分発揮しました。法学・会計・マーケティング・社会政策など、多岐にわたる学問の経済学・経営学の発表や、審査員からの有益な助言は、参加学生の見聞を広げることにつながる機会となりました。



★ 硬式野球部3年ぶりの和歌山キャンプへ

2月22日(水)～3月2日(木)の9日間にわたり、本学の硬式野球部61名が、3年ぶりに和歌山県にて強化合宿(春季キャンプ)を行いました。春季キャンプの前半は日高郡みなべ町で終日トレーニング。投手陣は毎日片道7キロの山道をランニングしてグラウンド入りし、帰日もまたランニングで宿舎へ戻るなど、ポジション別で大変ハードな練習プログラムに取り組み、足腰を鍛え上げました。後半は大阪府内へ移動し、強豪大学との練習試合を毎日行い、ゲーム方式の実践練習を重ねました。硬式野球部は、15年ぶりの明治神宮大会出場を目指し、最高のスタートを切りました。



★ JFLサッカークラブへの入団決定！

本学サッカー部に所属していた、3名のスポーツ学科卒業生がJFL及び地域リーグチームに加入することが決まりました。プロの世界で、そして新天地での活躍を大いに期待します。

- ・青木 駿汰 選手 FW(ラインメール青森加入)
- ・前田 亮太朗 選手 DF(東京23FC加入)
- ・畠山 諒介 選手 GK(BTOPサンクくりやま加入)

【3名からのコメント】

これまで応援して支えてくれた家族をはじめ、関わってくださったすべての皆様に感謝しています。これからも謙虚な気持ちを忘れずに、チームの昇格の為に前後断絶でプロセスを積み重ね、精進してまいります。応援をよろしくお願いします。



青木 駿汰 選手



前田 亮太朗 選手



畠山 諒介 選手



短大 スノーボード体験&スノーボードツアー

2月中旬、冬の一大イベントとして、短大部はSci-Tan Act!企画「スノーボード体験」を富山県南砺市のイオックスアローザで開催しました。大学では学友会企画「スノーボードツアー」を長野県梅池高原スキー場にて、1泊2日の日程で開催しました。

スノーボード初体験の学生たちは午前中にグループレッスンに参加し、基本姿勢、転び方、起き上がり方、滑り方や方向転換を教わった後、リフトに乗って初心者コースの滑走に挑戦しました。経験者の学生は終日自由にゲレンデを滑走したり、初心者者の学生にアドバイスしながら一緒に滑ったり、中・上級コースにトライしていました。

朝から雪が舞い続ける1日でしたが、思いきり身体を動かす楽しさ、新しいことに挑戦する面白さ、風を切ってゲレンデを滑走する解放感を味わうことができました！



短大 人生について考える旅 ほし☆たび屋久島

2月28日(火)〜3月5日(日)の5泊6日で「ほし☆たび屋久島」を実施し、大学1・2年次21名と短大部1年次6名の計27名が参加しました。

大阪南港で集合したメンバーはフェリーで鹿児島島に向かい、知覧特攻平和会館を訪れて自分たちと変わらない年齢で生涯を終えた特攻隊員の想いを知り、自分の人生をどう生きたいのかを考えました。3日目には世界遺産である屋久島で、樹齢7200年とも推定される縄文杉を目指し10時間のトレッキングをし、自然の生命力に触れました。また、移動中のフェリーでは、グループディスカッションやペアワークなどを行い、人生や仕事への自分の価値観を知り、旅の最後では人生で何を達成したいのかを各々が発表しました。

最後の発表で堂々と自分の夢について語る参加者たちの姿はとても頼もしく、参加前からひと回り成長したように感じられました。解散は鹿児島港。プログラム後も各自の旅が続きます。今回の経験は今後の人生にとって大きな糧になることでしょう。



短大 伝統工芸を初体験！

12月16日(金)、Sci-Tan Act!企画「ゆめの森で工芸体験」を開催しました。学生たちは「輪島塗の沈金体験」と「ガラス工芸のサンドブラスト体験」に参加しました。趣がある茅葺き屋根の古民家で、職人さんから丁寧な指導を受けました。

輪島塗の沈金体験では木目が美しい拭き漆の箸に好きな模様を彫り、職人さんに金箔を埋め込んで仕上げていただきました。ガラス工芸のサンドブラスト体験ではタンブラーグラスへの絵柄付けに挑戦しました。専用のシール紙を使ってガラスの表面に文字やイラストを配置し、サンドブラスト機でガラスに砂を吹き付けてすりガラス加工をしていただきました。伝統工芸の技術を身近に体験し、素材に触れるのもしろさと自分で作る楽しさを学んだ学生たちは、石川県が全国に誇るものづくりの魅力を改めて感じることができました。



★ 2年生 修学旅行に 行ってきました。

12月4日(日)～6日(火)、Aコースは群馬・長野・山梨、一貫理数コースは広島・大阪・京都、Bコースは三重・滋賀、Pコースは三重へそれぞれ修学旅行に行ってきました。コロナ禍により、本校では3年ぶりの修学旅行です。期間中は天候にも恵まれ、各地の名所を訪れ、見学や体験学習、平和学習を行いました。普段の学校生活ではできない体験から多くのことを学び、生徒にとって貴重な経験になりました。



★ 1・2年生 冬季体育大会を開催

12月20日(火)・21日(水)、1・2年生は冬季体育大会を実施しました。天候が悪く、すべて室内競技に変更となりましたが、どのクラスも一丸となって、外の寒さに負けない熱い戦いが繰り広げられました。各クラスの絆が深まり、笑顔となる良い2日間になりました。



★ 石川県高等学校 体育連盟学校対抗戦 男女総合優勝、 女子総合優勝

2月3日(金)、石川県高体連の正村泉一会長が来校され、校長室において石川県高等学校体育連盟学校対抗戦の表彰式が行われました。これは、高校総体の結果を各種目ごとにポイント制にし学校対抗で順位がつけられるものです。本校は見事、男女総合優勝、女子総合優勝を果たし、個人でもトランポリン部美田靖文さんをはじめ8名が表彰を受けました。



★ 2年生Pコース スノーボード実習を 実施

2月7日(火)～9日(木)、梅池高原にてスノーボード実習を行いました。初めてスノーボードを経験する生徒も多い中、インストラクターの指導のもと瞬く間に上達し、思い思いにゲレンデを滑走していました。今回の実習で学んだことを目頃の学校生活でも発揮してほしいと思います。



★ 卒業証書授与式を挙

3月1日(水)、卒業証書授与式を挙行了しました。今年の卒業生は新型コロナウイルス感染症の影響をまともに受けた学年であり、友達の笑顔も普段から見えず、多くの行事も中止となり、辛い学校生活を送ってきました。それでも、毎日笑顔を絶やさずに受験にも一生懸命立ち向かってくれました。式ではRADWINPSの「正解」を合唱し、これから歩む人生の正解を探す旅へ、その思いを歌声にして届けてくれました。卒業おめでとう！



★中 ウインターフェスティバル開催

12月7日(水)、ウインターフェスティバルを行いました。まずダンスを各学年で披露しました。学年全員が見事に揃った動きで、保護者の方を含めた観客から盛大な拍手が送られました。次にクラス対抗のフリースロー対決、バスケットボールが行われ、コート3面を有する体育館で白熱した試合が繰り広げられ、クラスの団結力がより高まったようです。



★中 3年ぶり対面での合唱コンクール開催!

12月21日(水)、稲置講堂において合唱コンクールを行いました。昨年と一昨年はオンラインでの開催であったため、今年は3年ぶりの対面で実施することができました。この日のために数カ月かけて練習してきた自由曲を披露し、どのクラスもマスク越しとは思えない気持ちのこもった素晴らしい歌声を響かせていました。金賞はクラス一丸となつて美しいハーモニーで会場を包み込んだ2Cが受賞しました。



★中 1年生 防災に関する学内研修

12月20日(火)、「私たちができる防災対策」をテーマに学内研修を行いました。「災害時の食について」「ポリ袋でご飯を炊いてみよう」「段ボールベッド作り体験」「防災・減災・災害時の生活について」の各講座を行いました。災害について学びながら、いつか来るかもしれない「もしもの場面」に対する備えをすることができ、生徒一人ひとりが楽しみながらも真剣に講座に取り組みました。



★中 3年生 杣池高原スキー場にて実習

1月31日(火)～2月1日(水)、一泊二日の日程で杣池高原スキー場に行ってきました。今回の実習は大自然に触れ、物事に進んで取り組む力や社会のルール、人との約束を守ることを身につけることが目的です。天候にも恵まれ、生徒たちはみんな協力しながら2日間楽しく自然と触れ合うことができました。宿の皆様、インストラクターの皆様、2日間ありがとうございました!



★中高 12月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

- 第32回北信越高等学校かるた選手権大会
・準優勝 伊藤 暖、堀 陽太(石川県選抜チーム)
- 川崎市長杯争奪2022 国際トランポリンジャパンオープン
・17・18歳男子の部 ・優勝 金沢 成哉
・17・18歳男子の部 ・第3位 今本 修成
- 第38回北信越高等学校囲碁選手権大会
・個人戦男女Bリーグ ・第4位 伊藤 翼
- 石川県アンサンブルコンテスト
・フルート5重奏 ・銅賞
- 第7回いしかわ吹奏楽コンクール新人戦
・銀賞
- 第75回中部日本高等学校演劇大会
・名古屋演劇ペンクラブ賞
・奨励賞
- 令和4年度石川県高等学校総合体育大会
スキー競技
・男子アルペン総合 ・第2位
・男子総合 ・第2位
・女子アルペン総合 ・第1位
・女子総合 ・第2位
- 第31回松本旗争奪石川県高等学校剣道選抜大会
・男子団体 ・第3位
- 第35回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト
・A部門 A-1 ・銅賞
・A部門 A-2 ・銀賞
・B部門 B-1 ・銀賞

北信越高等学校ボクシング新人大会

- ・高校生男子選抜の部 バンタム級 ・第1位 田上 獅道
- 令和4年度石川県高等学校総合体育大会

- ・総合最優秀校
- ・女子最優秀校

皇后杯第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

- ・5区 ・第42位 平野 華

2023日本室内陸上競技大阪大会

- ・U18男子60mハードル ・第2位 奈良本 圭亮
- ・U20男子60m B決勝 ・第7位 奥野 楓馬
- ・U20女子60mハードル B決勝 ・第3位 小早川 心暖

令和4年度第38回石川県高等学校弓道如月大会

- ・団体女子の部 ・第3位

第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会石川県予選会

- ・先鋒の部 ・優勝 山名田 創士

令和4年度石川県高等学校新人体育大会

スキー競技

- ・男子アルペン総合 ・第1位
- ・男子ジャイアントスラローム ・第1位 中野 光士郎
- ・男子ジャイアントスラローム ・第3位 宮本 直太郎





☆金箔体験 年長児☆

1月23日(月)、金沢市東山の『金銀箔工芸さくだ』で小物入れの金箔貼り体験を行いました。数種類ある柄の中から好きな箔シールを選び、小物入れのフタに貼り付けます。フタに専用のノリを付け、上に金箔を貼り付けていきます。「貼り残しはないかな?」とじっくり、丁寧に取り組んでいた子どもたちです。1カ月ほど箱に入れたまま置いておき、金箔がしっかりと貼り付き、乾いたら完成です。「早く使いたいね!」「中に何を入れようかな?」と嬉しそうに話していました。



☆味噌作り体験 年中児☆

2月1日(水)、金沢市東山の『高木糰子店』へ味噌作り体験に行きました。大豆の匂いが漂う雰囲気のある古民家の店内において、子どもたちが作る味噌作りの行程は、大豆をつぶし、糰子と塩、水を加え、手でよく混ぜ合わせ、耳たぶくらいのやわらかさになれば味噌の出来上がりです。味噌は樽に入れ半年ほど寝かせて秋頃には完成です。出来た味噌は給食でいただきます。「早く食べたいね」「どんな味かな?」と楽しみにしている子どもたちです。



☆アトリエリスタ蒔絵体験 年少児☆

2月9日(木)、蒔絵体験に参加しました。表面が粘着状になった黒色ステンレスパネルにカラーサンドを巻いて、蒔絵と同じ技法で模様を付けていきます。「パラパラしたよ!」「きれいだね」「魔法の粉だね」など、興味を持って参加していました。現代アート・油絵・ガラス細工・陶芸・蒔絵と続いたアトリエリスタはこれからも続きます。



☆トランポリンクラブ☆

毎週金曜日にトランポリンクラブを開催しています。星稜幼稚園職員の安藤コーチに跳び方や、跳んでいる時の姿勢などを教えてもらい挑戦しています。跳ぶ前は「ドキドキする!」「上手く跳べるかな?」と不安そうな表情の子も、実際に跳んでみると「簡単!」「気持ちいい!」と楽しそうな笑顔が見られました。年長児からは「トランポリン楽しかったね」「みんなにもトランポリンクラブの事を教えてあげたいね」の声が聞かれ、「なかまぼしゅうちゅう」のポスター作りが始まりました。「みんな、ポスター見てね」と嬉しそうに壁に貼っていた年長児たちです。現在は年少児からのクラブ員がいます。





☆手作り茶碗とお抹茶で
おもてなし☆

年長児が1月11日(水)・12日(木)、に九谷焼の絵付け体験をしました。九谷焼作家の大塚氏に教えていただきながら丁寧に筆を動かしていました。お茶会当日は出来上がった九谷焼茶碗でお茶を点ててお家の方に振る舞いました。はじめは数字の「1」を書くように茶せんを動かして最後は「の」を書くように点てる、と練習したことを思い出しながらおいしくなあれ、と思いを込めました。子どもたちに作ってもらったお茶は格別な味だったと思います。静かで落ち着いた時間を過ごしながらおもてなしできました。



☆やったね!

星稜泉野サッカークラブ☆

2月20日(月)、課外サッカークラブの第5回卒部試合を行いました。子どもたちはチームの仲間たちやコーチと円陣を組んで「絶対勝つぞ!」「エイ、エイ、オー!」と気合十分。友達や保護者の方々の応援を受けて一生懸命ボールを追いかけていました。友達に攻める方向を教えたり友達がシュートを決めると一緒に喜んで、皆が心を通わせながら試合に臨んでいました。

試合は見事、星稜泉野サッカークラブが優勝!金メダルと優勝旗を手にした子どもたちは、「本物の金メダルだ!」と喜んでいました。



☆年長児のお兄さん・お姉さん、
ありがとう☆

3月に卒園する年長児のお兄さん・お姉さんに年少児、年中児がプレゼントを作りました。一緒に遊んでくれたことや泣いていた時になぐさめてくれたこと、年長児との思い出を胸にありがたの気持ちを込めました。3月9日(木)のお別れ会では「遊んでくれてありがとう」と伝えながらプレゼントを渡しました。年長児たちは、お返しに年下の子たちの部屋へ行き絵本の読み聞かせをしました。絵本を読んでくれる年長児を見てすごい!こんなふうになりたいな、と憧れのまなざしの子どもたちでした。



☆もぐもぐ、
ごっくん!☆

子育て広場で離乳食の初期、中期、完了期の試食会を行いました。6カ月から11カ月のお子さんが、栄養士さんが作った離乳食をおいしそうに食べていました。お母さんたちは、栄養士さんから離乳食の進め方についての話や、食べさせ方の話を熱心に聞いたり質問したりしていました。





保護者の皆様がお子様の様子を間近で感じながら行事に参加できるように、こども園では人数や場所を考慮しながら活動を行っています。



中でも「誕生会参観」は、大切なお子様の誕生日をお祝いする特別な行事。誕生児が作る木のおもちゃの誕生日ケーキは、「es loyana」のパティシエ 小山進氏監修による、色彩・造形すべてにこだわった美しいフルーツタルトです。イチゴやキウイなど、好きなフルーツを好きなだけデコレーションする姿は、夢にあふれ、見ている側も引き込まれてしまいます。そんな子どもたちや保護者の皆様のうれしそうな笑顔を見ると、保育士もとても幸せな気持ちになります。

1日1日成長する喜びを、これからも保護者の皆様と共有し見守っていききたいと思えます。



星 稜

INFORMATION

金沢星稜大学学歌 新録音盤の贈呈

2月10日(金)、稲置学園・金沢星稜大学・同窓会役員懇談会がホテル金沢にて開催されました。稲置理事長をはじめ大久保学長、副学長、事務局副局長と同窓会役員あわせて13名が参加しました。

今回の懇談会において、大学同窓会から金沢星稜大学学歌「白山の虚空を翔ける」の旧音源を現代のアレンジに編曲し直した新録音盤が金沢星稜大学に贈呈されました。学生にとっても同窓生にとっても金沢星稜大学の一員であるというアイデンティティを確認するきっかけとして、今回の吹奏楽団演奏にあわせた学歌が、いろいろな場面で披露されることを願っております。

また近年のコロナ禍のため、久しぶりの役員懇談会開催に参加者一同交流を深めることができ、大変良い機会となりました。



2023年度エクステンション資格講座ガイドが完成しました!

資格取得やスキルアップを目指す方向けに開講しているエクステンション講座は、毎年学生を中心に卒業生や保護者の方にもご利用いただいています。また、WEB資格講座をはじめとするオンデマンド講座やオンライン講座、ライブ講座との組み合わせによるハイブリッド講座など「新しい学習環境」の提供をしています。

詳細はホームページでご確認ください。

〈エクステンション講座ホームページ〉<https://ssl.smart-academy.net/seiryu/>



【WEB資格講座で25種類の資格にチャレンジ】

2019年度から開始したWEB資格講座は、25種類の資格講座を「定額で」「1年間」「いつでもどこでも」視聴することができることから好評をいただき、4年目もたくさんの申込みをいただきました。より多くの方に学習しやすい環境を提供するために、毎月募集を行っています。

受講対象者: 学生(本学園の大学・大学院・短大部・高校等の在学学生)、学園(本学園の卒業生・教職員・保護者等)

受講期間: 受講開始より1年間 ※全25講座を1年間学び放題

受講料: 11,000円(テキストは別途購入)

申込締切: 毎月20日締切(20日が土日祝日の場合は、金曜日を締切日)

申込方法: 締切日までに受講申込書の提出と受講料の支払いをしてください。(学生以外の方の受講料は郵便局で払い込みとなります。)

WEB資格講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

〈WEB資格講座ホームページ〉<http://shikaku-web.net/web/>



学園創立90周年事業「寄付金募集」について

昨年は、稲置学園創立90周年事業を無事に終えることができました。これもひとえに星稜を愛してくださる皆様のおかげでございます。

また、稲置学園創立90周年を迎えるにあたり、多くの方々からご寄付をいただき、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ご芳名を学園ホームページに掲載させていただいております。詳細はホームページでご確認ください。

〈2020年12月1日～2023年3月31日受付分〉

寄付者総数: 2,006名、寄付金総額: 39,463,110円

〈稲置学園ホームページ寄付金募集〉<https://www.seiryu.jp/donation/>



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



株式会社CCイノベーション
(㈱北國フィナンシャルホールディングス)
コンサルタント

中村 通

(星稜高等学校 第34期卒)

星稜で学んだ、前に進む大切さを 胸に抱き、地域発展の一助に。

私は平成10年に星稜高校を卒業後、東京の大学を経て北國銀行に入行しました。すでに入学して19年が経過しましたが、振り返ると業務内容が大きく変化してきたことを実感します。入行後は出納、預金といった内部業務から、個人ローンや資産運用提案、そして法人営業や創業支援等の業務に携わりました。直近ではグループ会社のECサイトCOREZO(コレゾ)で、インターネットショッピング業務を経験し、今年の3月からはグループ会社のCCイノベーションに所属し、コンサルティング業務を担当しています。

このように業務内容は大きく変わりましたが、企業理念やブランド理念は何ら変わっておりません。すべての業務は「人々の生活をより良いものにする、より良い社会にするために活動する」といった理念を実現するために活動しています。

星稜高校の建学の精神に「誠実にして社会に役立つ人間の育成」とありますが、こうした理念と通じているように感じています。

学生時代のことを振り返ると部活動のことを一番に思い出します。当時陸上部に所属し、長距離の練習をしていました。レギュラー選手にはなれませんでした。それでもそうした経験から学んだことは、「へこたれない心」です。自分の弱さと向き合い、行動を振り返りながら、前に進むことの大切さを学んだように思います。今でも、失敗してもあきらめずに努力し続けることを心がけています。

グローバル化やデジタル技術の進化などで世の中は大きく変化しています。変化が激しい時代だからこそ、変わることのない理念や価値を大切にすることが重要だと思います。理念の実現に向け、地域の発展のため微力ながら、活動していきたいと思っています。

最後に、星稜高校関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、結びのご挨拶とさせていただきます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでもこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。



北國銀行

<http://www.hokkokubank.co.jp>

総合研究所・ 地域連携センター だより



総合研究所

「2022年度研究成果報告会」を 開催しました！

3月2日(木)、金沢星稜大学総合研究所主催
2022年度研究成果報告会を開催しました。
本年度の報告会では、2件の共同研究、2件のプロジェクト研究所が成果報告を行いました。
昨年度と同様にコロナ禍のため、フィールド調査が計画通りに進まなかった研究もありましたが、報告会には県外の共同研究員及び学部を越えた多くの参加者による意見交換が行われました。
研究担当の新副学長が「大学が求められるものは高度な教育と地域貢献であるが、その源泉となるのは研究であり、来年度以降もさらなる研究活動の発展を目指していく」と締めくくり、報告会は終了しました。



共同研究

【テーマ】ロングセラーの理論的背景の整理と位置づけの明確化

【研究者】○牧野耀(経済学部)、吉田満梨(神戸大学)、小林日暮(立命館大学)

【テーマ】午睡場面に着目した保育者が子どもに触れることの意味

【研究者】○三好伸子(人間科学部)、荒木実代(神戸医療未来大学)

プロジェクト研究所

【研究所名称】災害時・緊急時の外国語対応検証研究所

【テーマ】災害時・緊急時の外国語対応の展開ー石川・金沢におけるシステムの実走

【研究者】○田中富士美(人文学部)、井手秀樹(金沢学院大学)、川澄厚志(金沢大学)、岸本秀一(経済学部)

【研究所名称】グローバルスタディーズ教育プロジェクト研究所

【テーマ】変化する社会における文化継承についての研究と実践ー社会に貢献する人材育成のための比較文化学の方法とその課題ー

【研究者】○齋藤千恵(人文学部)、本康宏史(経済学部)、小西賢吾(京都大学)、桑野萌(人文学部)、坂井紀公子(人文学部)、高原幸子(人文学部)、バイヤー・アヒム(人文学部)

○は研究代表者

第1部：報告団体・活動テーマ

【いしかわ子ども交流センター活性化プロジェクト】子ども対象のイベントを通して、自分たちのスキルアップと交流センターの活性化を図る

【食☆活(子ども支援活動)】学生が創る子どもの居場所

【キッズプログラミングアカデミー】子どもたちに楽しいプログラミング教育を！

【コスメティックベコリン♡】能登半島援星短 project [HACK] 学生の身近な情報を受発信できるラジオ

【FTGs】エコフレンドリーで体にも優しく、平等かつサステナブルな未来へ

【Vegetable Cafe・ベジカフェ】映える加賀野菜



第3部：報告者・活動テーマ

【新広昭副学長】「SDGs未来都市白山市のプロモーション活動・白山・手取川ジオパーク国際認証後のSDGs観光を視野に」

【石川美澄准教授】「南砺市桜ヶ池エリアにおけるプレイスメイキング」・子ども向けイベント(なんとで!)の企画・実施

【前田昌寛准教授】「志賀町小学校英語教育プロジェクト」

【西村貴之教授】「Future Challenge Project2022」(プロスポーツ発！誰もが共に暮らし続けられる街づくりを目指し挑戦する活動)

【清水和久教授】「羽咋地区における国際交流支援、ICT活用支援」

【三好伸子教授】「茅葺き文化に関する絵本作り」



地域連携センター

「2022年度地域連携活動報告会」を 開催しました！

2月17日(金)、金沢星稜大学地域連携センター主催2022年度地域連携活動報告会を開催しました。

本年度の報告会は3部構成とし、学生・教員が今年度行った活動や、今後の活動の展望についてプレゼンを行いました。

第1部は、学生が自分たちで企画・実践した様々なプロジェクトを通して経験したこと、学んだことを発表する場として、星稜ジャンプ地域活動プロジェクト(通称・ちいプロ)成果報告会を行いました。今年度もコロナ禍の影響で活動が制限される中、7団体約140名の学生が工夫を凝らして実施した活動内容や成果、学び等を発表しました。質疑応答や他団体の発表から刺激を受け、今後の活動への新たな一歩につながる報告会となりました。

第2部は北陸先端科学技術大学院大学教授であり、産学官連携推進センター長の山本外茂男氏をお招きし「地域の未来に貢献する大学の役割」をテーマに基調講演を行っていただきました。

この講演で産学官連携の課題やそれを担う人材の育成の必要性を理解することができました。また、本学も参加している産学官金連携マッチングイベント Matching HUBの現状についても紹介があり、参加者においても北陸における産学官連携の取組状況を知る良い機会となりました。

第3部は教員とゼミナール等の団体が、専門的な知見と情熱ある行動力を生かし、関係団体と連携して地域の活性化に結び付ける活動を行う「地域連携による地域貢献活動」推進事業の成果報告会を行いました。様々な趣向を凝らし地域の課題解決や活性化に向けて活動している様子が報告されました。

本報告会は、今後の本学の地域連携活動の核となり得る興味深い内容が数多く報告されました。今後も学内にとどまらず、自治体や学校、各種団体等の関係者、また地域の皆様にも共有させていただき、更なる地域連携活動の発展を目指していきたいと思っております。

行事スケジュール (4月～6月)

※変更する場合があります。

金沢星稜大学

4	4日(火)	入学式
	5日(水)・6日(木)	新入生全体ガイダンス・研修
	7日(金)・8日(土)	新入生宿泊研修(山中、山代、和倉、千里浜)
	11日(火)	前期及び第1Q授業開始
5	15日(土)・16日(日)	新入生歓迎祭
	2日(火)～5日(金・祝)	GW休講期間
	13日(土)・27日(土)	補講日
6	5日(月)～9日(金)	第1Q科目試験期間
	10日(土)・24日(土)	補講日
	12日(月)	第2Q授業開始

金沢星稜大学女子短期大学部

4	4日(火)	入学式
	5日(水)～7日(金)	新入生全体ガイダンス・研修
	11日(火)	前期授業開始
	22日(土)	新入生歓迎祭
5	2日(火)～5日(金・祝)	GW休講期間
	13日(土)・27日(土)	補講日
6	10日(土)・24日(土)	補講日

星稜高等学校

4	4日(火)	1年入学前オリエンテーション・自転車安全教室
	7日(金)	入学式
	10日(月)	始業式、1年研修会
	15日(土)	2年・3年 自転車安全教室
	18日(火)～20日(木)	身体計測
5	28日(金)	内科検診
	28日(金)	GSP説明会
	2日(火)	春の遠足
	15日(月)～18日(木)	中間試験
	18日(木)	高校総体・総文激励会
	20日(土)	後援会総会、3年学級懇談会、1年A懇談会
	26日(金)	避難訓練
6	6日(火)～8日(木)	歯科検診
	10日(土)	1年保護者対象説明会

星稜中学校

4	7日(金)	始業式、入学式、入学オリエンテーション
	10日(月)	1年研修会、交通安全教室・自転車説明会
	11日(火)	1年研修会、タブレット安全教室
	15日(土)	身体計測、2年コース説明会、3年進路説明会
	18日(火)～20日(木)	内科検診
5	2日(火)	春の遠足
	16日(火)・17日(水)	中間試験
	20日(土)	後援会総会
	26日(金)	避難訓練
6	2日(金)	スポーツテスト
	3日(土)	学校説明会
	6日(火)～8日(木)	歯科検診

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	5日(水)	入園式、進級式
	27日(木)	茶道教室(つき)
5	19日(金)	内科検診
6	25日(木)	茶道教室(ほし)
	14日(水)	歯科検診
	29日(木)	茶道教室(つき)

※誕生会…誕生日当日

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	5日(水)	入園式
	6日(木)	始業式
	19日(水)	誕生会(年長)
	20日(木)	誕生会(年中)
	26日(水)	避難訓練
	27日(木)	誕生会(年少)
5	10日(水)・24日(水)	小児科健診
	23日(火)	誕生会(年長)
	26日(金)	誕生会(年中)
	30日(火)	誕生会(年少)
	31日(水)	避難訓練
6	20日(火)	誕生会(年長)
	21日(水)	誕生会(年中)
	28日(水)	誕生会(年少)
	29日(木)	避難訓練

星稜サ・エ・ラに関する
アンケートへのご協力をお願い

締切5/31

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。

抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924 (代表)
(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237 (代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>